

第73期 報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

当社を取り巻くビジネス環境は、中国経済の減速、長期化する米中貿易摩擦、世界的な新型コロナウイルス感染症による影響などによって未曾有の厳しさに直面しております。第73期（2020年3月期）の当社の業績は、一般産業機器向けの大幅な減少、自動車市場向けの停滞により年初の予想を下回る結果となりました。

従来のスマートフォンなどの大量品ビジネスの維持、カーエレクトロニクスのさらなる進展に伴う自動車分野での成長、および産業用機器・通信用機器分野での拡大に注力してまいります。特に、今後は5G高速通信の普及やIoT需要の拡大、自動運転の発展など、新たな市場に向けた新製品開発に積極的に注力し、常に最先端の技術を追求し続けます。今後もより効率的な資源の配分と集中化を図り、高付加価値製品の開発力の強化、生産効率化の促進、コスト競争力を高めてまいります。

持続的安定成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井和徳

ヒロセ電機若手社員からの質問に、石井社長が答えます！



社長と若手社員との座談会にて、石井社長が若手社員の疑問に答えます。

Q

効率的な働きを求められていますが、近頃は社員の数が増えています。方針変更したのでしょうか？

A

できるだけ少ない人材で最大の成果をあげていこうという考え方で、これまで安易に人を増やさない方針を貫いてきました。しかし、近年は採用を大幅に増やしています。これは、中期成長戦略を実行・推進していくための人的リソースが絶対的に不足しているからです。すなわち、いまこの時期が、チャンスをもににするための先行リソース投入の時期なのです。社員が増えても、指示待ち、事なかれ主義、他人任せに

陥らないようにしなければなりません。それには、コミュニケーションを活発にして、新たな英知を取り込み、社内の既存の英知とつなげることが大切です。ヒロセ電機はこれからも少数精鋭を続けていきます。なぜなら、一人ひとりが最大限の力を発揮することを期待して、そのための機会を提供し、その実行と成果で、皆さんが達成感と成長を手に入れられる会社でありたいからです。そして、最大の成果に結びつけることができる、より筋肉質な会社を目指していきます。



Q

中期成長戦略による設備投資を拡大していますが大丈夫でしょうか？

A

予測できない変化が繰り返し起こる時代にあって、そうした変化に左右されない、継続安定成長する会社であり続けたいと思っています。それによって社員の幸福を守り続けることが、会社の使命のひとつだと思っています。一方で、現状はコスト勝負を強いられる局面もあり、維持していけるのか、という声が、前線から疑問としてあがってきていることも承知しています。自動車・産業用機器向けでの取り組みも簡単ではなく、ビジネス環境は厳しいものです。しかしこの戦いは、未来につながるヒロセ電機の新しいビジネスモデルを構築していくための、チャレンジャーとしての戦いなのです。そのシナリオが中期成長戦略であり、会社はかつてない投資や多くの仕込みをしています。いまは踏ん張りどころが続きますが、皆さんと共にチャレンジャーとして挑んでいきたいと思っています。

Q

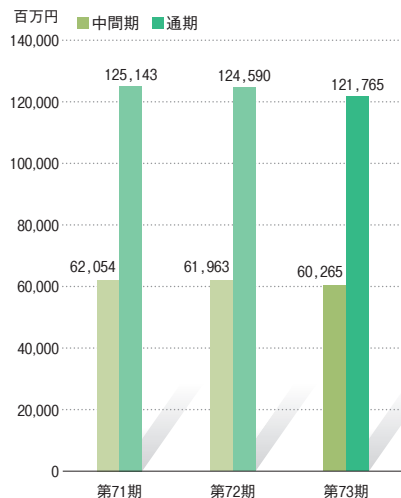
文化や環境が違う海外の社員に、ヒロセ電機の考え方をより理解してもらうためには、何が必要でしょうか？

A

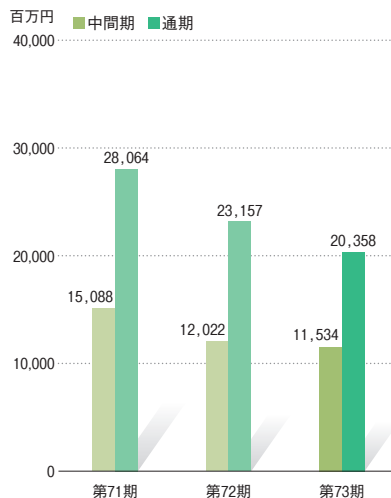
ヒロセ電機がグローバルに勝ち抜いていくためには、ベクトルを合わせていかなければなりません。一方、グローバルビジネスでは、日本流が絶対ではないということも理解しないといけません。グローバルで勝負していくためには、変化に対応した環境整備・改善が必要になります。その取り組みを皆さんと共に進めていきたいと思っています。

決算ハイライト

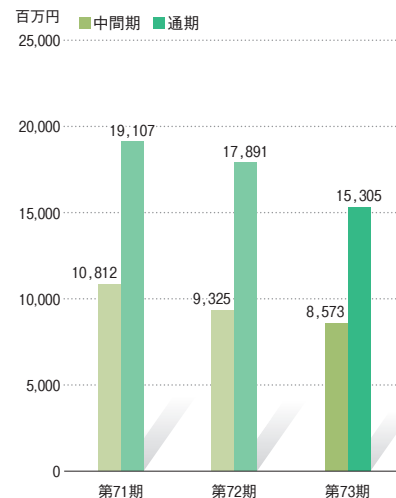
売上収益



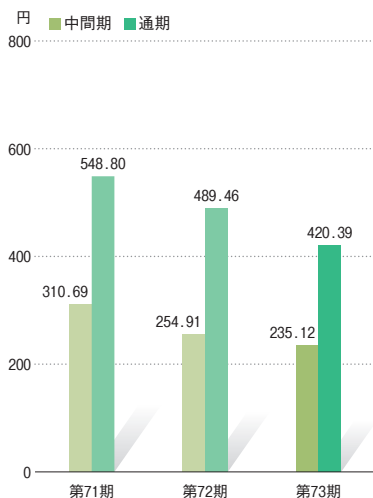
営業利益



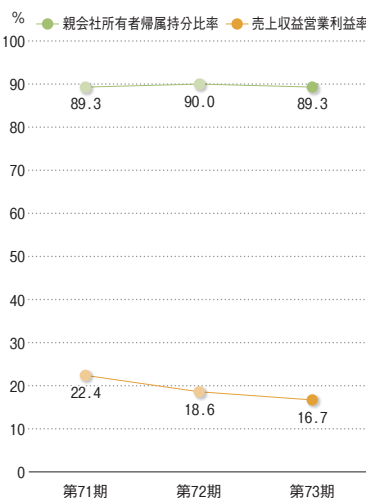
親会社の所有者に帰属する当期利益



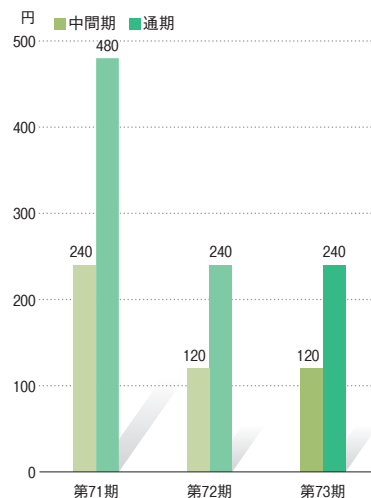
基本的1株当たり当期利益



親会社所有者帰属持分比率、売上収益営業利益率



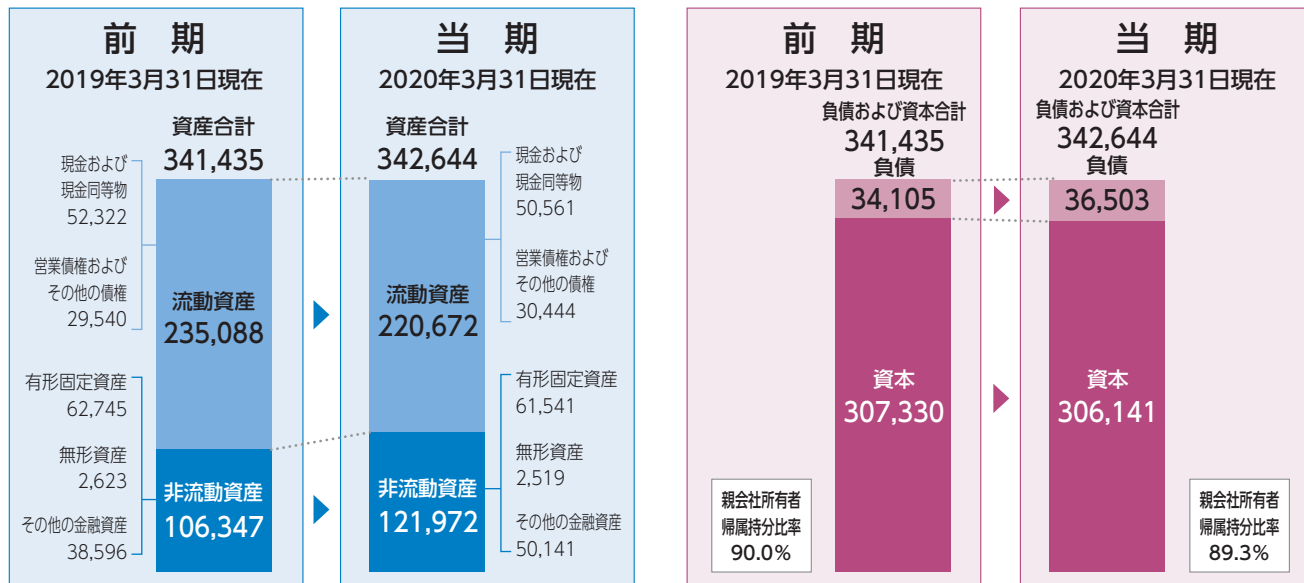
1株当たり配当金



※第71期においては、創業80周年を記念し、特別配当を実施いたしました。

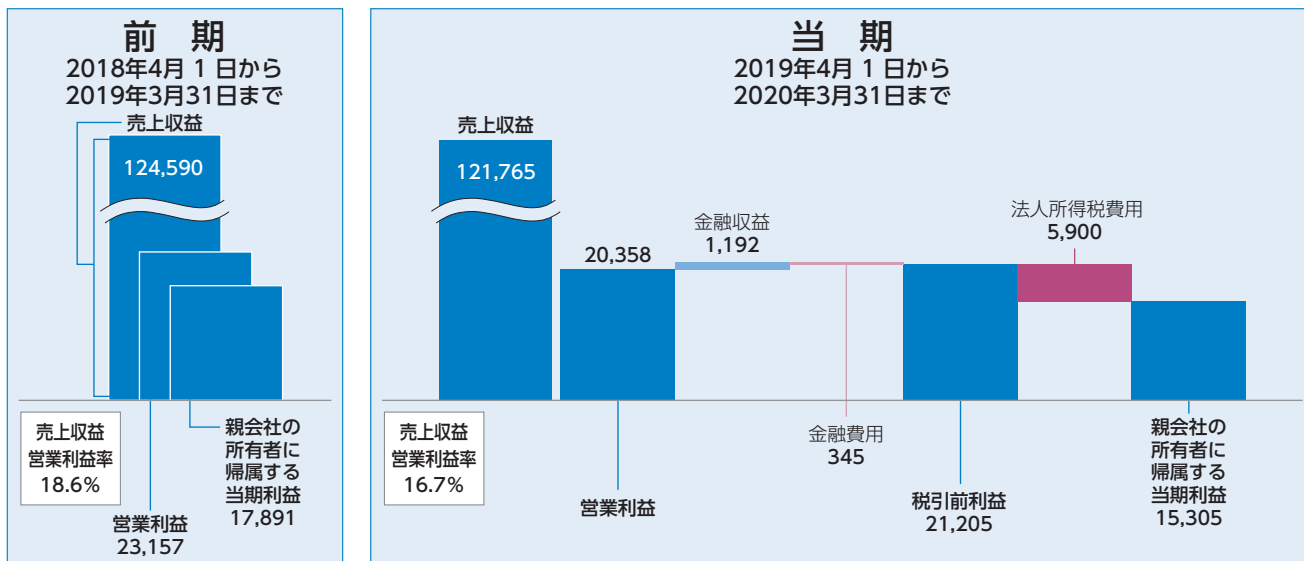
連結財政状態計算書の概要

(単位：百万円)



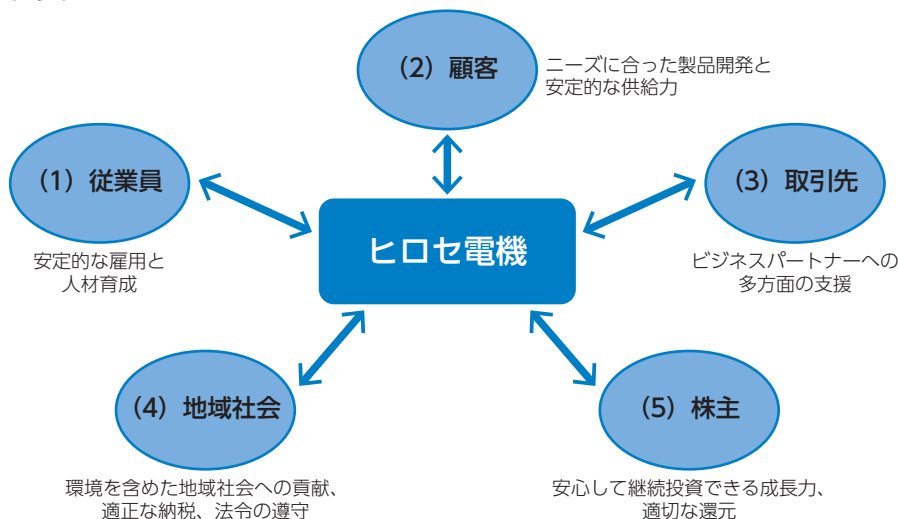
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



1. 中期事業展開の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点で事業の中期的な見極めが難しくなっております。しかしながら、(1) 従業員 (2) 顧客 (3) 取引先 (4) 地域社会 (5) 株主 の全てのステークホルダーへの配慮を重視し、保有する金融資産および今後創出する営業キャッシュフローを有効活用し、持続性を最優先した事業運営に努めてまいります。



2. 中期資本政策の公表について

中期資本政策（株主還元策）については、中期的な一定規模の自社株買いも含めて検討してきましたが、2020年度業績は減収減益予想を余儀なくされ、特に、成長を目指して、ここ数年リソース投入を強化してきた自動車事業は、当面非常に厳しいビジネス環境が想定されます。

このような状況のもと、今後の持続的安定成長を目指し、中期事業計画の再構築を進めます。中期資本政策はこの再構築の目途が立った段階で公表させていただきたいと思います。

なお、このような状況ではありますが、1株当たり配当240円/年は2020年度も堅持し、実行面での株主還元は継続させていただきます。

『ヒロセ社員の品質教育施設 「品質啓発室」 について』

全従業員が「品質第一主義」に取り組むための教育施設として、『品質啓発室』を設置しております。展示は「失敗に学ぶ回廊」、「再発防止活動」、「気づき・学びの場」の3エリアに分かれています。過去～現在の品質状況を理解することで、今後の業務品質向上と改善活動につながる気づきを職場に持ち帰り、一人ひとりが自らの役割を果たす行動につなげる学びの場となっております。お客様にヒロセのコネクタを安心して使っていただくために、製品およびサービスに対する品質の維持・向上を常に目指し活動してまいります。

なお、この品質啓発室は社員向け施設のため、一般向けの見学はお受けしておりません。

●品質啓発室の構成

失敗に学ぶ回廊

過去から現在までに起こした重要品質問題を教訓として、
気づき・学びを得るエリア

再発防止活動

同じ失敗を繰り返さないための活動を紹介するエリア

気づき・学びの場

品質に関する考え方、手法、活動を知り、
全従業員に対する品質教育へつなげるエリア



多極コネクタ

売上収益 **108,014**百万円（前年同期比 0.5%増）

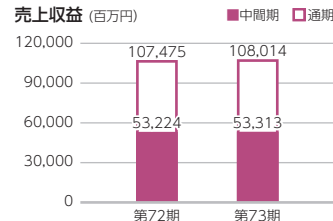
88.7%



当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタなど多品種にわたります。

主としてスマートフォン、通信機器、カーエレクトロニクスなどの分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当期の連結売上収益は1,080億14百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は194億6百万円（同11.2%減）となりました。



8.0%

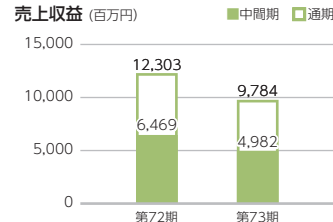
同軸コネクタ

売上収益 **9,784**百万円（前年同期比 20.5%減）



同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、またはスマートフォンおよび伝送・交換装置などに使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当期の連結売上収益は97億84百万円（前年同期比20.5%減）、営業利益は8億37百万円（同30.7%減）となりました。



3.3%

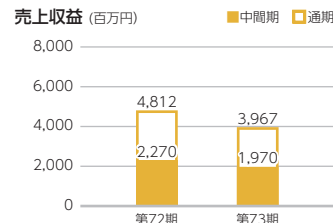
その他の製品

売上収益 **3,967**百万円（前年同期比 17.6%減）



以上のコネクタ製品以外の製品として、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

当期の売上収益は39億67百万円（前年同期比17.6%減）、営業利益は1億15百万円（同13.0%増）となりました。



FX26 シリーズ

本シリーズは2020年1月に米国ラスベガスで開催された電子機器の展示会CES 2020のVehicle Intelligence & Transportation部門においてInnovation Awardを受賞した車載駆動系装置向け基板対基板コネクタです。今後電動自動車の普及に伴い、電子駆動系装置の増加が見込まれる一方、製造現場では人手不足や賃金上昇などの課題を抱えており、組み立ての効率向上・自動化のニーズが高まっています。従来、駆動系装置の内部接続は組み立て作業が手作業前提となる基板対ケーブルコネクタが主流でした。本製品は自動化に適する基板対基板コネクタであり、かつ独自の設計により高い信頼性および小型化を実現しております。このような優れた機能・デザインが高く評価され受賞につながりました。既に国内外のお客様に採用が決まっており、引き続き本製品の拡販により自動車業界の発展に貢献してまいります。



BM46 シリーズ

本シリーズは2020年1月に米国ラスベガスで開催された電子機器の展示会CES 2020のMobile Devices & Accessories部門において、Innovation Awardsを受賞いたしました。受賞理由としましては、マルチRF対応基板対基板コネクタとして、5Gを代表とする新しい通信規格の急速な発展に伴うアンテナ数の増加、すなわちケーブル本数増加によるセットの高密度化に対し、コネクタ1セットで対応を実現することにより、セットの小型化、デザイン自由度の向上、生産性の向上に寄与したことによるものです。本受賞を採用拡大へのきっかけとして、今後さらに発展するコンシューマー市場にて、お客様に貢献してまいります。また、次世代、次々世代のBM46をリリースし、市場をリーディングしてまいります。



ヒロセのコネクタ道場

外部接続用コネクタ

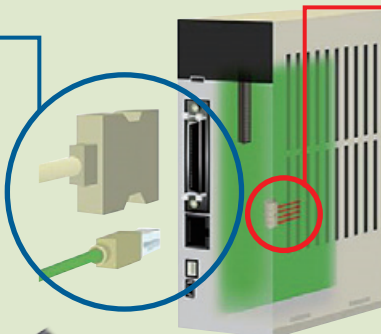
電子機器と電子機器を接続するコネクタです。外部接続用のコネクタは、メーカーが異なる製品同士でもつなぐことができるよう、USB Type-Cなどの世界的な標準規格が設けられているものも多くあります。

使用例

- ・ Type-Cコネクタ（スマートフォン、PCなど）



・ 産業用機器向けコネクタ



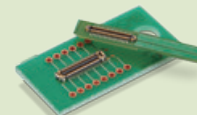
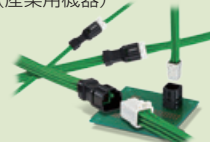
例) サーボンプ

内部接続用コネクタ

電子機器内部を接続するためのコネクタです。電子機器内部で、基板と基板、基板とアンテナを接続したり、ケーブル同士をつないでいます。使用される電子機器の種類や用途によって、形も様々です。

使用例

- ・ 内部電源用コネクタ（産業用機器）
- ・ メイン-サブ基板接続用コネクタ（スマートフォン）



- ・ 内部基板と画面やカメラ接続用コネクタ（スマートフォン）



グループネットワーク

◎国内拠点

東北ヒロセ電機株式会社



一関ヒロセ電機株式会社



郡山ヒロセ電機株式会社



西日本営業所

関西支店

中部営業所

北関東営業所

本社



菊名事業所



横浜センター



◎海外拠点

ヒロセエレクトリックヨーロッパ



広瀬電機(蘇州)有限公司



広瀬(中国)企業管理有限公司



ヒロセエレクトリックインド



広瀬電機(東莞)有限公司



ヒロセコリア



ヒロセエレクトリックUSA



ヒロセエレクトリックマレーシア



台廣電子股份有限公司



ヒロセエレクトリックシンガポール



ヒロセエレクトリックインドネシア



広瀬香港有限公司
広瀬電機香港貿易有限公司



会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
設立 1948年6月15日
従業員 連結4,737名 (パートタイマーを除く)
資本金 9,404,379,401円

取締役および監査役 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	石井和徳
専務取締役	中村充男
取締役	桐谷幸雄
取締役	福本広志
取締役	佐藤博志
取締役	李相燁
社外取締役	堀田健介
社外取締役	元永徹司
社外取締役	西松正記
常勤監査役	千葉良一
社外監査役	杉島光一
社外監査役	三浦健太郎

(注)

1. 取締役 堀田健介氏、同 元永徹司氏、同 西松正記氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 杉島光一氏、同 三浦健太郎氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

会計監査人 有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式総数 36,267,145株
(自己株式2,114,675株を除く)
株主数 3,909名

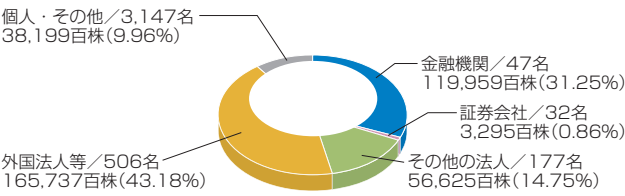
大株主 (上位10名)

株主名	持株数
公益財団法人ヒロセ国際奨学財団	31,476百株
ジェービー・モルガン・チェース・バンク 380055	30,277
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー 505223	29,878
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	20,920
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	20,022
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	16,285
有限会社エイチエス企画	12,215
みずほ信託銀行株式会社 信託口0700065	8,707
みずほ信託銀行株式会社 信託口0700066	8,652
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口7)	6,805

(注) 上記大株主10名のほか、当社が自己株式21,146百株を保有しております。

株式分布

株式の所有者別状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

〔株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〕

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
(<https://www.hirose.com/jp/ir/>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〔郵便物送付先〕 〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〔電話照会先〕 ☎ 0120-782-031

インターネット <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
ホームページURL index.html

〔特別口座について〕

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についての住所変更等のお届出およびご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ヒロセホームページの注目コンテンツ！

① 自動車・ADASに
おすすめのコネクタ



② ビルの電気設備に最適
EF2シリーズ 導入事例



③ コネクタQ&A
おしえて！エイチくん



④ 個人投資家の皆様へ



QRコードを読み込むと、該当のホームページ
にアクセスすることができます！